

行列のできるスキルアップ研修会（病理細胞部門企画）

生涯教育研修・一般教育研修課程：	専門教科	20 点
認定病理検査技師制度：	区分 A 20 単位	区分 C 15 単位
	区分 B 20 単位	区分 D 05 単位

行事コード【180000515】

テーマ	病理検体取扱いマニュアルの神髄を探る ～マニュアルに込められた想い、そして新たな未来へのメッセージ～
開催日時	平成 30 年 5 月 11 日（金） 14 時 00 分～17 時 55 分
会 場	アクトシティ浜松 B1F 中ホール（第 2 会場） （静岡県浜松市中区板屋町 111-1）
内 容	<p>日本臨床衛生検査技師会は日本病理学会と平成 26 年より「認定病理検査技師制度」と、「日本病理精度保証機構」それぞれの設立に絡み、互いに協定書を結んで信頼関係と協力体制を築いています。</p> <p>昨年度、こうした流れの中で日本病理学会 病理検体処理ガイドラインワーキンググループは「病理検体取扱いマニュアル」監修しました。本マニュアルは病理検体を扱うすべての者を対象とし、検体取り扱いの標準化にむけて先駆け的なものになると考えられます。</p> <p>本研修会ではマニュアル監修に携わられた森井英一先生をお招きし、病理検体取り扱いマニュアルに込められた想い、そして今後の業務にどのような影響を望まれるかを基調講演としてご講演頂きます。</p> <p>また静岡県の講師による現状紹介や WSI に関する講演に続き、根本誠一先生には病理検体取扱いマニュアルを業務フローに組み込んだ実状をご講演頂きます。</p> <p>本研修会が、「病理技師ひとりひとりが安全で安心できる業務体制の構築を目指す意識を持ち、今よりさらに精度の高い病理業務に繋げていくきっかけ」となることを望んでいます。</p> <p>【基調講演】 14：00～15：00 （60分） 病理検体の重要性をめぐる諸問題 講師 大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学・病理診断科 森井 英一 先生</p>

質疑応答 15:00～15:10 (10分)

休憩 15:10～15:15 (5分)

【講演 1】 15:15～15:25 (10分)

内視鏡検査介助者からみた病理検体の取り扱いについて

講師 磐田市立総合病院 臨床検査技術科

榛葉 由佳 技師

【講演 2】 15:25～15:45 (20分)

日常業務とマニュアル遵守の間にある理想と現実・

標準化に向けた取り組み —病理検体の受付—

講師 富士市立中央病院 診療技術部臨床検査科 病理

渡邊 広明 技師

【講演 3】 15:45～16:25 (40分)

日常業務とマニュアル遵守の間にある理想と現実・

標準化に向けた取り組み —病理検体処理～薄切—

講師 独立行政法人 静岡県立病院機構

静岡県立総合病院 病理学部

岩崎 朋弘 技師

【講演 4】 16:25～16:45 (20分)

デジタルパソロジーがもたらす未来と、求められる役割

講師 浜松医科大学医学部附属病院 病理部

栗田 佑希 技師

休憩 16:45～16:55 (10分)

【講演 5】 16:55～17:35 (40分)

「病理検体取扱いマニュアル」を業務工程フロー図に落とし込む

—目的達成のためのプロセスの可視化と活用方法—

講師 株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 検査技術科

根本 誠一 技師

総合討論 17:35～17:55 (20分)

募集人数	200名（事前参加登録制）
受講料	<p>日臨技会員 3,000円 賛助会員 3,000円 非会員 6,000円 ※学生は学生証提示により会員料金で受講可。</p>
申し込み方法	<p>参加は事前申込制です。（日臨技会員のみ。）ただし、定員に満たない講座は当日参加も可能です。事前登録のお申込み方法は、第67回日本医学検査学会公式ホームページをご参照ください。 （http://convention.jtbcom.co.jp/67jamt/） 事前登録のお申込み期間は、 平成30年3月1日（木）～4月15日（日）までとなります。</p>
問い合わせ先	<p>静岡赤十字病院 病理診断科 山田清隆 〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町8-2 TEL：054-254-4311 FAX：054-252-8816 Email：shizuringibyouri@yahoo.co.jp</p>
受付・参加費の支払い等	<p>行列ができるスキルアップ研修会の受付開始時間は講座開始1時間前からとなります。 【受付場所】アクトシティ浜松 B1F 第2会場（中ホール）ロビー ※ 開催当日、受付にて参加費をお支払いください。</p>
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会